

## 経済広報センター「2012年度 教員の民間企業研修」受け入れ ～東村山市教育委員会より3名の教員が参加

平成24年8月6～7日の2日間、JISAは[一般財団法人経済広報センター](#)が実施する「2012年度 教員の民間企業研修」の受け入れを行い、東村山市教育委員会より派遣された東村山市内の小学校の教員3名が参加した。

経済広報センターは、将来の日本を担う子どもたちの育成を図るため、「教育界と経済界とのコミュニケーションの促進」に力を入れている。「教員の民間企業研修」はその取り組みの一環として1983年から毎年行っているもので、小・中・高等学校の先生が夏休み期間中に、民間企業で様々な研修を受けるプログラムである。

一方 JISA はここ数年、事業計画において「社会、業界、教育界、マスコミ等への情報発信の強化」を方針として打ち出しており、その一環として広報・人材委員会広報部会(部会長:野村武司、(株)野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部長)を中心に、小中高校における情報教育推進への取り組みを行ってきている。

今回の「教員の民間企業研修」受け入れは、そのような取り組みの一環として実施したものである。当業界ではこれまで、IT ホールディングスグループ TIS(株)、(株)NTT データ、日本ユニシスグループ、(株)野村総合研究所などの JISA 会員企業が受け入れを行った実績があるが、協会として受け入れを行うのは今回が初めてである。

研修は、「情報化社会を支える情報サービス産業とネットワーク社会における個人情報保護」と題して行った。プログラムの概要は以下のとおりである。

### ■1日目

社会における情報システムの重要性や、IT 社会を創る人材について理解を深めてもらうため、「暮らしや社会における情報システム」「情報システム構築の仕事」「IT エンジニアの職種と役割」について JISA 事務局が説明した。その後、広報部会メンバーの伊藤忠テクノソリューションズ(株)を訪れ、IT 開発現場の先進的オフィス(入退室管理、ペーパーレス、フリーアドレス)を見学するとともに、プロジェクトマネージャの仕事と役割についてレクチャーを受け、その後プロジェクトマネジメントの学級経営への活用をテーマにディスカッションを行った。



### ■2日目

ネットワーク社会における個人情報保護のあり方について JISA 審査業務部のプライ

バシマーク審査員がレクチャーした。次に参加者が演習として学校の特定業務を想定した「個人情報保護の特定」と「リスクアセスメント」に取り組み、演習の成果を発表した。

また、「児童に IT をどう教えるか」「学校で IT をどう活用するか」について、広報部会メンバーと参加者でディスカッションを行った。



研修に参加した教員の皆さんには、今回の研修で学んだことを活かし、子どもたちに社会における情報システムの重要性や IT 社会を創る仕事の大切さ・面白さを教えるとともに、プロジェクトマネジメントや個人情報保護の考え方・手法を学校／学級経営に活用していただけるよう期待したい。

(田畑)